



2020年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年3月13日

上場会社名 株式会社クロスフォー 上場取引所 東
 コード番号 7810 URL <https://crossfor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土橋 秀位
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 米光 信彦 (TEL) 057-008-9640
 四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第2四半期の連結業績(2019年8月1日~2020年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第2四半期	1,566	△16.7	56	△60.7	52	△59.1	51	△23.7
2019年7月期第2四半期	1,880	△15.5	143	204.6	128	231.1	68	—

(注) 包括利益 2020年7月期第2四半期 52百万円(△23.3%) 2019年7月期第2四半期 67百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第2四半期	3.11	3.09
2019年7月期第2四半期	4.07	4.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年7月期第2四半期	5,322	2,639	48.9
2019年7月期	5,277	2,588	48.4

(参考) 自己資本 2020年7月期第2四半期 2,603百万円 2019年7月期 2,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	0.00	—	0.30	0.30
2020年7月期	—	0.00	—	—	—
2020年7月期(予想)	—	—	—	1.60	1.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年7月期の連結業績予想(2019年8月1日~2020年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,850	10.2	200	224.1	180	261.6	126	821.4	7.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期2Q	17,522,000株	2019年7月期	17,522,000株
② 期末自己株式数	2020年7月期2Q	798,081株	2019年7月期	798,081株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期2Q	16,723,919株	2019年7月期2Q	16,721,435株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いております。一方で世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大、米中の通商問題、中国経済の減速、香港デモの長期化など、世界経済を取り巻く環境の不確実性は高まってきており、先行きの不透明感が強まっている状況にあります。

ジュエリー業界におきましては、近年盛り上がりを見せていたインバウンド消費が落ち着いてきたことや、昨年10月に実施された消費増税前の駆け込み需要の反動減、相次いだ自然災害の影響などにより、消費者の節約志向が以前よりも強まったことから、収益環境は厳しいものとなりました。今後においても短期的には新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されることから、東京オリンピック・パラリンピック時のインバウンド需要や、それに伴う国内消費の盛り上がりなどが期待されるものの、国内ジュエリー市場は当面軟調に推移するものと考えております。一方、国外ジュエリー市場は、インド、東南アジア、アフリカを中心とする中間所得層の拡大から購買力が向上し、2022年には48兆円の市場へ成長する予測であります。(※1)

このような状況の中、当社グループは「Dancing Stone」(※2)を中心にクリスマスや年末需要の獲得に向けてブランド価値の向上と浸透に努めました。具体的には女性による女性のためのジュエリーをコンセプトとした新ブランド「mute」の第1弾商品を投入し、加えて雑誌やネット媒体を通じた広告や得意先に新製品やプロモーション情報を伝えるクロスフォーニュースの配信を開始するなど、新機軸の取組みを開始しております。また、在庫適正化の観点から従来の委託販売方法を見直し、委託製品の選別、店頭における販売支援策の拡充を進めました。

さらに、新製品である「テニスブレスレット」は、下期からの本格的な販売開始に向けて、品質の安定を図り、また2020年2月に大量受注に対応できる24時間の生産体制を整えました。加えて、「EZ Clasp」(※3)は、目途が立ったキャスト製品に加え、オートメーションで大量生産できるプレス機の開発を進めております。そして、これらの新製品の品質、機能面の優位性を幅広く知っていただくため、1月に開催された国際宝飾展では「テニスブレスレット」、「EZ Clasp」及び「EZ Clasp Jacket」(※4)の実演紹介を行いました。

加えて、第1四半期連結累計期間中に日本精密株式会社と業務提携契約を締結し、「プリリアントプレス」の販売に向けて、製品化準備を進めております。

国外においては、既存市場の深耕に加え新規エリアでの取引先開拓に注力し、まだ「Dancing Stone」を紹介していない中東エリアを中心に営業活動を行いました。さらに「テニスブレスレット」や「EZ Clasp」を海外大手小売チェーンに紹介するなどの活動を行っております。

こうした活動を行ってまいりましたが、国内売上高は、「Dancing Stone」製品について市況に影響された得意先の買い控えによる減収をカバーすることができず、1,043百万円となりました。海外売上高についても、経済情勢の影響を受けた展示会集客の落ち込みによる減収をカバーすることができず、522百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,566百万円(前年同四半期16.7%減)、同営業利益は、販売管理費および滞留在庫の削減に取り組んだ結果、56百万円(前年同四半期60.7%減)、同経常利益は52百万円(前年同四半期59.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は51百万円(前年同四半期23.7%減)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

※1 TechSci Research「Global gems and jewelry Market, Competition, Forecast and Opportunities, 2012-2022」より引用。

※2 「Dancing Stone」とは、当社の特許技術により宝石に穴をあけることなく、宝石を揺らすことができる宝石のセッティング方法であります。

※3 「EZ Clasp」とは、チェーンやブレスレット向けの片手で簡単に脱着可能なダブル式の留め金具であります。

※4 「EZ Clasp Jacket」とは、EZ Clasp本体に装飾を加えることで、留め金具でありながらジュエリーやアクセサリーのデザインの一部として楽しめるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ44百万円増加し、53億22百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2億22百万円増加、原材料及び貯蔵品が2億82百万円増加し、商品及び製品が4億11百万円減少したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、26億82百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加し、長期借入金(1年内返済予定を含む)が2億22百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ51百万円増加し、26億39百万円となりました。これは主に、利益の計上により51百万円、新株予約権の計上により4百万円増加し、剰余金の配当を5百万円行ったこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ220,958千円増加し、929,357千円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動により獲得した資金は、304,100千円(前年同四半期は343,197千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益52,665千円を計上したこと、たな卸資産の減少額75,786千円、減価償却費の計上64,323千円、売上債権の減少額64,913千円等の増加要因によるものであります。

投資活動により使用した資金は、53,332千円(前年同四半期は112,064千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出49,595千円等の減少要因によるものであります。

財務活動により使用した資金は、27,725千円(前年同四半期は132,043千円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入100,000千円及び短期借入金の純増減額200,000千円等の増加要因があったものの、長期借入金の返済による支出322,701千円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年9月13日の「2019年7月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	710,998	933,157
受取手形及び売掛金	545,294	395,862
商品及び製品	1,402,059	990,906
仕掛品	194,652	248,019
原材料及び貯蔵品	629,849	911,856
その他	50,128	51,673
貸倒引当金	△57,396	△811
流動資産合計	3,475,586	3,530,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,048,892	1,026,139
土地	331,347	331,347
建設仮勘定	14,791	27,530
その他(純額)	157,633	168,563
有形固定資産合計	1,552,664	1,553,581
無形固定資産	85,086	72,495
投資その他の資産		
その他	171,383	256,884
貸倒引当金	△6,810	△91,330
投資その他の資産合計	164,572	165,554
固定資産合計	1,802,323	1,791,630
資産合計	5,277,910	5,322,294

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,520	92,786
短期借入金	500,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	574,752	522,773
未払法人税等	12,959	6,756
その他	86,109	94,147
流動負債合計	1,252,342	1,416,464
固定負債		
長期借入金	1,435,718	1,264,995
その他	1,372	1,075
固定負債合計	1,437,091	1,266,071
負債合計	2,689,433	2,682,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	683,400	683,400
資本剰余金	777,066	777,066
利益剰余金	1,121,067	1,167,984
自己株式	△20,378	△20,378
株主資本合計	2,561,156	2,608,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17	62
為替換算調整勘定	△4,276	△4,276
その他の包括利益累計額合計	△4,293	△4,213
新株予約権	31,614	35,899
純資産合計	2,588,476	2,639,758
負債純資産合計	5,277,910	5,322,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)
売上高	1,880,748	1,566,542
売上原価	1,044,558	851,933
売上総利益	836,190	714,608
販売費及び一般管理費	692,869	658,304
営業利益	143,321	56,304
営業外収益		
為替差益	—	126
受取賃貸料	2,957	2,932
その他	2,693	2,057
営業外収益合計	5,651	5,116
営業外費用		
支払利息	6,455	6,160
為替差損	10,507	—
コミットメントフィー	—	1,905
その他	3,110	689
営業外費用合計	20,074	8,755
経常利益	128,898	52,665
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	128,898	52,665
法人税、住民税及び事業税	70,948	1,668
法人税等調整額	△10,118	△937
法人税等合計	60,830	731
四半期純利益	68,067	51,933
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,067	51,933

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)
四半期純利益	68,067	51,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	79
為替換算調整勘定	△203	0
その他の包括利益合計	△225	80
四半期包括利益	67,841	52,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,841	52,014
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	128,898	52,665
減価償却費	54,400	64,323
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,031	27,934
受取利息及び受取配当金	△111	△149
支払利息	6,455	6,160
為替差損益(△は益)	8,778	1,903
固定資産除売却損益(△は益)	—	0
株式報酬費用	9,009	4,285
売上債権の増減額(△は増加)	78,228	64,913
たな卸資産の増減額(△は増加)	△682	75,786
仕入債務の増減額(△は減少)	△106,021	14,263
前受金の増減額(△は減少)	△4,848	△4,138
未払又は未収消費税等の増減額	97,615	9,041
その他	43,702	96
小計	314,394	317,087
利息及び配当金の受取額	111	149
利息の支払額	△6,588	△6,052
法人税等の支払額	△1,694	△7,083
法人税等の還付額	36,975	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	343,197	304,100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△84,253	△49,595
その他	△27,811	△3,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,064	△53,332
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	116,666	200,000
長期借入れによる収入	450,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△315,197	△322,701
株式の発行による収入	220	—
自己株式の取得による支出	△15	—
配当金の支払額	△119,629	△5,024
財務活動によるキャッシュ・フロー	132,043	△27,725
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,200	△2,084
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	354,975	220,958
現金及び現金同等物の期首残高	442,096	708,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	797,072	929,357

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、ジュエリー事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。